

---

# SA協議会

## 2016年度 東京スキルアップミーティング

(2016年8月31日開催)

### 報告

SA協議会

2016-9-5

WG; 大賀、藤井、吉川、西山、  
大野、青野、外山

---

## スキルアップミーティング(以後,SUM)報告項目

### 1. 概略計画(WGメンバーにて計画運営を実施)

東京会場

### 2. SUM参加者

### 3. 当日の内容報告

東京会場

### 4. 参加者アンケート結果

### 5. その他(懇親会)

### \* 講演資料は別PDFファイルを参照

(ファイルは、会員専用ページ「スキルアップミーティング」を参照)

# 1. SUM概略計画(東京会場)

---

## 開催概要【東京会場】

- 開催日時：平成28年8月31日(水) 13時00分～17時00分
- 開催内容：講演とディスカッション
- 開催場所：明治大学駿河台キャンパス紫紺館3階会議室
- 定員：50名様
- 参加費：無料
- 懇親会費：4,500円(予定) ※懇親会へのご参加は任意です。
- 申込締切日：平成28年8月5日←7月13日案内、実質7月22日締め切り

## 【プログラム】

受付:12:20 開始

開会:13:00

終了:17:10 頃予定

懇親会:17:45～19:45

## 【開催内容】

- ・SA協議会会長からの挨拶と講演(40分) 明治大学名誉教授 向殿 政男 氏  
タイトル「安全と倫理」
- ・第一部講演
  - (1) 団体(企業)の部(50分) 奨励賞  
株式会社アルバック 生産技術センター 品証部 製品安全品質保証課 吉瀬 寿彦 氏  
「リスクアセスメントによる製造装置の安全化への取り組み」
  - (2) 個人の部(50分) 功績賞 T-RAST(トラスト)研究所 橘 良彦 氏  
「リスクアセスメントについての考察」
- ・第二部ディスカッション(120分)  
向殿安全賞受賞者の講演への質疑応答及び意見交換
- ・情報提供(15分)

## 2. 参加者結果

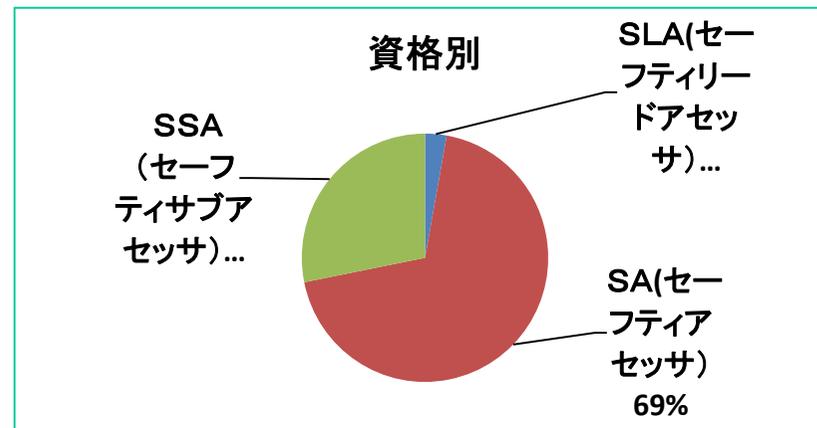
### 参加希望者

東京 93名(WG含め)

### 当日参加者

東京 79名+WG 6名

(懇親会参加者 25名)



参加者のSA資格別内訳別



会場満席の  
参加者

### 3. 内容報告

---

#### 東京会場

【プログラム】 13:00～17:15 司会;大賀氏(関東WGリーダー)

1. SA 協議会会長からの挨拶と講演 (40 分) 明治大学名誉教授 向殿 政男 氏

タイトル「安全と倫理」

2. 第一部 向殿賞受賞者講演

(1) 団体(企業)の部 (50 分)

奨励賞 株式会社アルバック 生産技術センター 品証部 製品安全品質保証課

吉瀬 寿彦 氏

「リスクアセスメントによる製造装置の安全化への取り組み」

(2) 個人の部 (50 分)

功績賞 T-RAST(トラスト)研究所

橘 良彦 氏

「リスクアセスメントについての考察」

3. 第二部ディスカッション (120 分)

向殿安全賞受賞者の講演への質疑応答及び意見交換

4. その他 情報提供 (15 分)

#### 【懇親会】

場所;「咲くら」御茶ノ水店時間;17:45～19:45

### 3. 内容報告

#### 1. 挨拶及び基調講演 SA 協議会会長 明治大学名誉教授 向殿 政男先生

- 本ミーティングは、有志メンバーが、「SA有資格者の機械安全スキルの維持向上のために共通の課題等を検討して企画しています。是非、本交流会を通し、交流を図って互いの持っている知識経験を交換し、今後の業務、活動に活かしていただきたい」との挨拶があった。

- ご講演「安全と倫理」の講演で以下のポイントのプレゼンがあった。

- ・倫理とは
- ・技術者倫理
- ・安全に係る技術者倫理
- ・安全技術者倫理

(講演資料は、SA協議会会員ページに掲示予定)



# 3. 内容報告

## 2. 第1部講演

### (1) 団体(企業)の部

奨励賞 株式会社アルバック 生産技術センター 品証部 製品安全品質保証課

吉瀬 寿彦 氏 「リスクアセスメントによる製造装置の安全化への取り組み」

～設計段階からリスクを見える化する手法と、

世界の拠点を結ぶセーフティーアセッサとしての活動の紹介～

(講演資料は、SA協議会会員ページに掲載予定)

\* 吉瀬氏より動画、模型(3Dプリンタで制作)を使って以下の講演があった。

1. アルバック社の紹介
2. フロントローディングの考え方
3. いかにして見える化を実現し、効果あるRAができるか？  
3D-CADと3Dプリンタの活用
4. アルバックSA協議会活動
5. 海外との連携
6. 安全教育の課題



# 3. 内容報告

## 2. 第1部講演

### (2)個人の部

功績賞 T-RAST(トラスト)研究所 橘 良彦 氏

「リスクアセスメントについての考察」

～「危害の程度」の判断要素について～

(講演資料は、SA協議会会員ページに掲載予定)

\* 橘氏より以下の講演があった。

1. 橘氏の自己紹介
2. 旭硝子(株)のリスクアセスメント導入の経緯と展開、問題点と対応
3. 「危害の程度」の判断要素について  
JISB9702, 厚生労働省、安全技術応用研究会(SOSTAP)、トラスト研究所
4. リスクアセスメント実施上のポイント
5. おわりに  
アセッサに期待すること



# 3. 内容報告

## (3) 第2部 ディスカッション(GD)

基調講演、向殿安全賞受賞者2名の講演に対しての質問とディスカッションしたいポイントを会場より提起してもらい大賀氏をコーディネーターとしてディスカッションを実施した。

### ◆ 討議事項

#### 組織/企業における安全倫理

安全に寄与する倫理とは  
倫理を身につける、向上させるためには  
セーフティアセッサの役割・心構え

#### リスクアセスメント技術

危険源の同定・特定  
リスクの見積もり：「危害のひどさ」「危害の可能性」  
リスク低減策  
RA実施者の力量

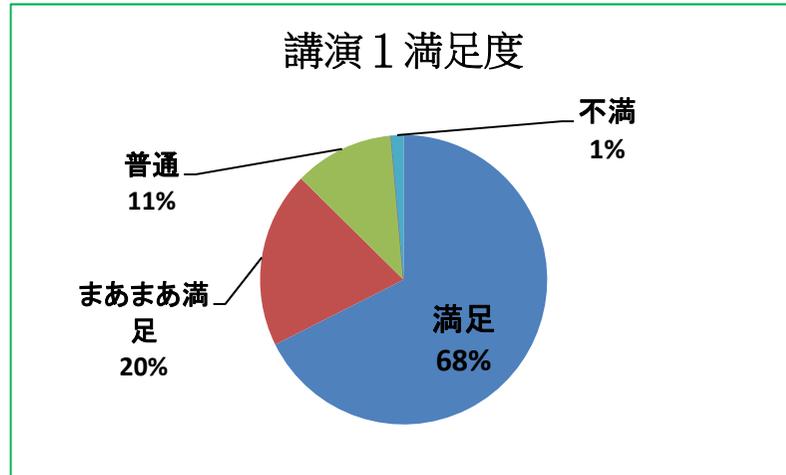
#### リスクアセスメント プロセス

リスクアセスメントのアプローチ  
経営者/スタッフ/現場  
設計者/使用者  
教育

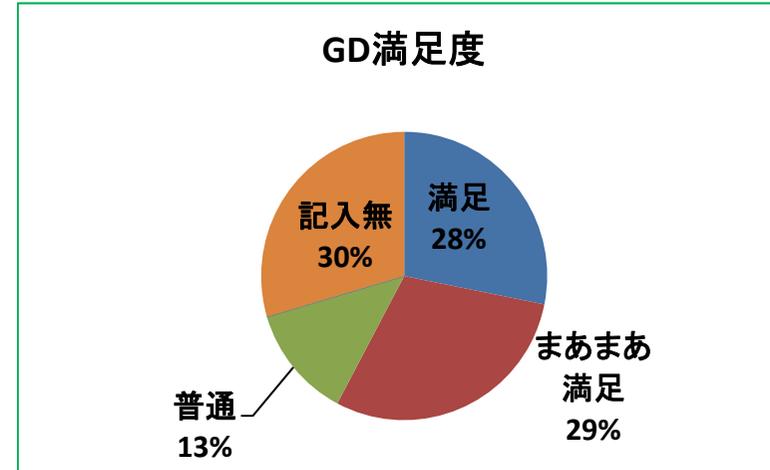


## 4. アンケート結果(47名から回収)

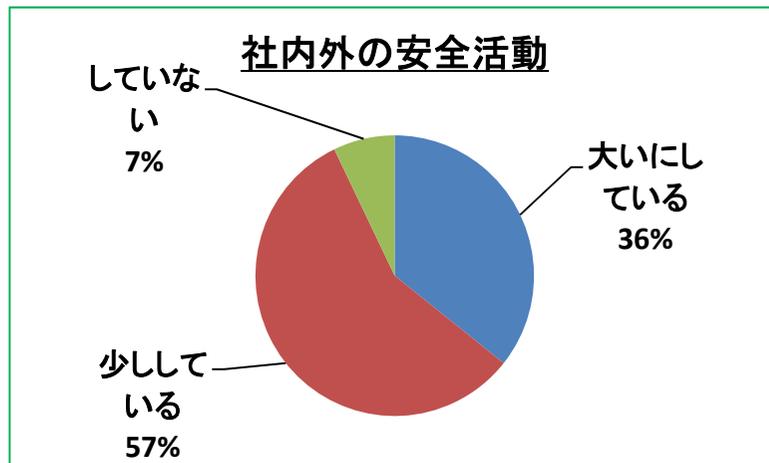
① 本日の講演についての感想は



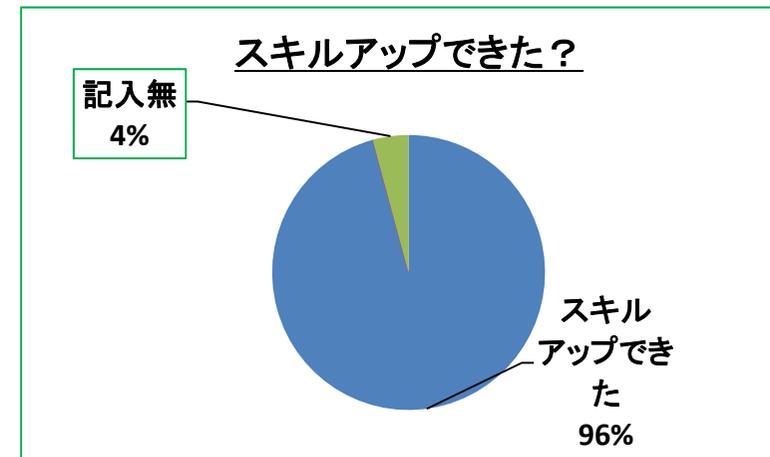
② 本日のグループ/討議についての感想は



③ 社内外での安全活動



④ 参加してスキルアップできましたか?



## 5. 纏め

---

今回も大変に有意義なミーティングとなった。

(前回よりもミーティング及び懇親会ともに最多の方が参加した)

・今回のスキルアップミーティングは、昨年度向殿安全賞の受賞者からの講演を中心に企画したが、大変に好評であった。また、例年実施しているグループディスカッションから、講演内容に対して受講者からの質問を受けての全体ディスカッションに変更した。

→講演は大変に好評であった。ディスカッションも事前に質問を受けるとともにプロジェクターに写しての議論のため活発な発言があった。ただ、時間の都合によりディスカッションの時間が少なく、その点の直接の指摘と満足度に関するアンケートに記入無しが目立った。

・今回は、紫紺館のキャパギリギリまでの参加であった。内容をグループディスカッションからフリーディスカッションとして3人/デスクとすることにより収納限界まで受け入れたが、申し込み締め切りを2週間も前倒ししなければならなかった。参加をお断りした方もおり次回からの開催について検討課題となった。

－ 人数制限 － 開催回数を増やす 等

<懇親会時に種々の意見及び提案を受けた>

・スキルアップミーティングではなかなか聞けない自社個別の悩み/課題を、懇親会の場で、聞けた/解決できた。(ざっくばらんな雰囲気は大事)

・関東WG(幹事)を紹介したが、懇親会時どういう方であるのかがわかり、いろいろと話ができた。(ミーティングの閉会前に紹介したのが良かった?)

・SA協議会は、様々な分野のメンバーがいるので、各知見や経験をまとめ、ガイドやハンドブックのようなものが出せると良いとの提案があった。

## 5. その他

### 向殿先生を囲んでの交流会

向殿先生を囲んでの楽しい懇親会を実施しました。参加者25名(最多の参加)。

他社の方と安全の土俵で交流することにより、このような場では、本音レベルでお話ができる大変に有意義でした。1回/年だけでなく交流したい。次回もぜひ参加したいとの多くの感想が寄せられた。

